

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（250～300 字程度）	
私は、このプログラムで特に英語の発音について理論的に理解し、実践することができました。解剖学的な視点や、音のつながりの種類を具体的に学ぶことで、よりクリアで正確な発音方法を学びました。また、先生とマンツーマンでレッスンをしたことで、間違っている部分はすぐに指摘してその場で改善することができました。L と R の発音の違いや、日本語に無い音などはまだまだ伸びしろがありますが、「発音がきれいになった」と先生をはじめ家族や友人からも言ってもらえて、英語を話すことの自信につながりました。また、短いスピーチを何度も練習したため、人前で話すことへの抵抗感が少なくなり、以前より自分に自信がついたように感じます。	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。（250～300 字程度）	
プログラム期間中に、授業で習ったフレーズを実際に使用する機会がありました。私は飲食店でアルバイトをしているのですが、英語を話していた方が日本語のメニューを見つめて難しげな顔をしていました。以前の私なら話しかける勇気も無く呼ばれるまでは行動しなかったと思いますが、せっかく覚えたフレーズを実際に使うチャンスかもしれないと考えて、勇気を出してお客さんに話しかけてみました。私の英語はとてまたどたどしいものでしたが、お客さんの疑問を解決することができ、笑顔で” Thank you.”と言ってもらえました。自分の成長を実感できた経験でした。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（250～300 字程度）	
留学とアルバイト、部活動を両立できた点がメリットだと思います。留学は朝の 9 時 30 分から 15 時 30 分までのため、その後の時間は自由に使うことができました。私はアルバイトを週に 1 度、部活動を週に 2 日ほどしていましたが、どちらもあまり質を落とすことなく、よく授業の復習もしたうえでプログラムを続けることができました。デメリットは、オンライン授業のため、発音の音や口の形が分かりづらい点、環境音等が入り込んでしまう点です。いつもよりはっきりと大きな声で話すよう心がけたり、家族にも協力してもらって静かな環境を作ったりしていました。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（250～300 字程度）	
私は好きな英語の配信者がいるので、その人の配信を聞いていました。前は配信者の言っていることが半分くらいしか分からず、動画を見るのがメインでしたが、プログラム中は映像よりも音声を聞くよう注意していました。前よりも話している内容をしっかり聞き取れたり、冗談で一緒に笑えたりしたので、配信を見るのが楽しみでした。また、頻繁に洋楽を聞いていました。私は元々あまり海外のアーティストには明るくないのですが、有名な曲や元気が出る曲を探して聞いていました。授業中にディクテーションで使った曲を聞いて復習したり、知ってるフレーズがきたら一緒に歌ったりして、気分転換しつつ少し勉強していました。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
今後も英語学習を続けようと思っています。特に単語量とスピーキング能力が課題だと思ったので、言語学習のアプリやサイドリーダーなどを使って、勉強を続けたいです。部活動が忙しくてまとまった時間が取れるか分かりませんが、少しでもいいからまずは英語学習を継続することを意識したいです。留学前は英語は必修科目のイメージが強く、テスト前に急いで単語や文章の内容を確認したりすることが多く、あまり身に付いている感じがしませんでした。しかしそれでは全然太刀打ちできないことが分かったので、今までかけた時間とお金の元を取る気持ちで、実際に使える英語にしていきたいです。	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（250～300字程度）	
マンツーマン授業を通して自分の意見をどうにかして英語で伝えるという力が身についたと思う。相手の方は日本語がわからないため英語を使わないと何も始まらないため最初は単語を並べて文法が全然違ってもとにかく伝えようと必死になってやった。でも3週間を通して少しずつではあるが文法なども気にしながら意見を伝えられるようになった。授業では発音の仕方を一からやり、自分は日本語っぽい発音になっているのがコンプレックスだったが発音するときに意識すればよい点があったため3週間ではなかなかうまくできるようにはならなかったがこれからたくさん発音練習をしてネイティブの人のように話せるようにしたい。	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得ることができたか記載してください。（250～300字程度）	
オンラインであったため現地との交流はなかったが、授業を通してもっとフィリピンと日本の文化について知ろうと思えて授業以外の時間でたくさん文化について調べた。相手の文化について調べるだけでなく自分の国の文化について知ることが意外と重要だった。自分の国について知ることによって話すネタにもなるしフィリピンでは日本のアニメなどが流行しているため日本のアニメ以外の面での文化に興味を示してくれた。また、宿題でPowerPointを使う機会があったが英語を使用して作る時にどのように要点を英語でまとめるのかを考えるのがとても役に立った。	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。（250～300字程度）	
メリットとしては自宅で受講できるため授業が終わった後の時間を活用できる。そのため、バイトやサークルとの活動との両立がしやすく、忙しくてまとまった時間が取れず、実際に海外に行くことが難しい人でも英語の学習をすることができる。しかし、自宅で受けているため、なまけようと思ったら簡単になまけることができ自分で自分を制する必要があるのがデメリットだと思う。また、同じ授業を受けている生徒がいるとはいえ同じ空間で受けているわけではないのでわからない点や不安な点を解決するのが難しかった。	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを記載してください。（250～300字程度）	
平日毎日授業があるが午後3時半には授業が終わるため夜ご飯を友達と食べたりして息抜きをして、毎日授業のために家にいて授業を受けるだけになり授業を苦痛なものにしないようにしていた。また、授業の中でフィリピンについてなるべく多く聞くようにしたり、授業外でもフィリピンについて調べて相手の国について興味を持つことでより相手の国について知ろうと思ひ、授業がとても楽しく身になるものになったため、相手の国について知ることはモチベーションを保つのによいと思われる。また先生がとても日本の文化に興味を示してくれたため、もっと文化を伝えたいと思ひどんな風に英語を使えば伝わるかを考えられた。	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300字程度）	
自分は夏からアメリカに半年留学するためその前に少しでも英語の能力を上げたいと考えこのプログラムに申し込み、今回の目標としては自分の意見や日本の文化について伝えられるようにするだったが、まだ伝えようとする中で詰まってしまうことが多いため、これから留学までと留学中を通してたくさん英語を話す機会を設けて自分の意見について細かいところまで英語でも伝えられるようにしたい。また、大きな目標として海外で働く、というのがあるためそのために、日常会話だけでなくビジネス英語も身に付けて実践的な英語力を大学生のうちに付けるようにしたい。	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそのまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。	

国際化サポート海外留学奨励金 オンラインプログラム報告書

下記のとおり、報告いたします。

研修名	エンデラン大学（オンライン）
プログラムで学んだ内容およびご自身の学習成果について記載してください。（250～300 字程度）	
<p>午前中のプログラムではマンツーマンで発音や文法を習ったり、様々なトピックについて話しました。午後は団 体で話し合ったり、スピーチをしたりしました。午前の授業では、アルファベットの正しい発音方法や読み方、 アクセントの付け方を学び、英語を話す際に流暢に聞こえるようにする練習をすることが出来ました。午前では 一対一でお話している形で話題について話し、午後はスピーチを中心に私自身が設けられたテーマについてプ レゼンする練習をしました。午前と午後どちらの授業でも身近な話題について話す練習をし、スピーキングスキ ルだけでなく、様々な文化などもまなぶことができました。これらの授業によって、自信をもって英語を話そう とするきっかけとなりました。</p>	
バーチャルアクティビティへの参加等、現地の学生との交流や授業以外の活動において、どのような経験を得 ることができたか記載してください。（250～300 字程度）	
<p>オンラインプログラムのため、授業以外で、他の学生との交流などはとくにありませんでした。しかし授業内で フィリピンの文化や習慣などを少し教えてくれたり、自分自身で日本の伝統についてスピーチすることがあった ため、先生と文化交流をすることができました。特に、日本について紹介する場面が多く、どのような単語を使 えば海外の方にも理解してもらえるのかを考える練習になりました。他の方の発表を聞く機会も多かったので、 自分の発表で足りなかった点を考えたり、参考にさせていただくこともできました。</p>	
オンラインプログラムに参加して感じたメリット・デメリットについて記載してください。 （250～300 字程度）	
<p>メリットは、マンツーマンで基礎から発音やアクセントを教えてもらえること、オンラインのため夕方はアルバイトや他の用 事などをいれていても問題ないこと、気軽に辞書やネットなどを使って調べられることなどです。一対一で教えてもらえるこ とで時間を十分に使うことが出来、質問などもしやすかったです。また私は午後にアルバイトを入れたり友達と会う約束をす ることが多かったです。</p> <p>デメリットは、オンラインだと分かりづらいことが多々あることと、日本にずっといることです。 オンラインだとパワーポイントなどがパソコン上でしか見ることが出来ないため、文字が小さく目が疲れます。また授業が終 わった後すぐに日本語を使うことが出来てしまったり、日本の環境に戻ってしまうので、少しモチベーションが下がりました。</p>	
オンライン授業への臨み方（時差・コミュニケーション）としてモチベーションアップ等に役立ったことを 記載してください。（250～300 字程度）	
<p>フィリピンとの時差は1時間と少ないため、とくに支障はありませんでした。ずっと同じ場所で授業をうけている とつまらないので、家の中でも少し場所を変えながら行うことで気分転換になったと思っています。</p> <p>またオンライン授業だと終わった後すぐに接続が切れるので授業の確認などがしにくいいため、なるべく多くメモ を取りながら授業を受け、終わった後に自分自身で復習と予習をする時間を設けていました。授業後に復習や予 習をする時間を設けることで次の日の授業の理解が深まったと感じています。</p> <p>午前中の発音の練習などは授業時間外でも毎日継続していると舌が動きやすくなったように感じています。</p>	
今後の展望・目標について、プログラム参加前と後での変化も含め記載してください。（250～300 字程度）	
<p>このプログラムに参加するときは自分自身のスピーキング力の向上とざっくりとした目標だけ持っていました。 しかし授業では発音をしっかり治してくれたり、英語を流暢に話すためのキーポイントなども随時教えてくれま した。プログラムに参加したことで、自分自身の発音やアクセントがいかに間違えていたかを知ることができ、 また治す方法も学ぶことが出来たので、他の人が聞き取りやすいきれいな英語を話せるようになるという目標が できました。</p> <p>また、間違えることが怖くてなかなか話せないのが問題だったのですが、授業を受けたことで間違えても良いと 思って積極的に話すことを心掛けることができました。今後は積極的に話すことにプラスして、より言いたいこ とを理解してもらえるように語彙力もつけたいと考えています。</p>	
【注意事項】提出された報告書は、次年度以降の短期海外研修の募集および未来サポーター募金事業の広報を目的に、原則として当原稿をそ のまま外部に公開いたします（学生番号、性別、生年月日、連絡先は公開しません）。	